

# 養育行動と児童のパーソナリティー に関する一研究

一団地の場合—

山 川 範 子

## まえがき

児童のパーソナリティーの形成に対して、家庭環境の諸条件が、きわめて重要な影響力をもつものであることは、従来一般に認められてきたところであるが、近来精神分析学の影響や、問題児の臨床的研究などによって家庭環境中、特に乳幼児期の親子関係のあり方、すなわち養育行動が重視されるに至った。

この養育行動は、その背景をなす地域、社会階層が異なる場合に、その型に種々変異があることが、多くの研究によって明らかにされている。<sup>(1)(2)(3)(4)(5)(6)</sup>

本研究は地域、社会階層を異にする5つの地点、すなわち上流階層、団地、農山村、特殊共産部落、離島（沖縄）を選び、それぞれの養育行動の実態と児童のパーソナリティーの関係を比較研究するもののうち、団地の場合に関するものである。

## 研 究 方 法

(1) 乳幼児の養育行動の調査には、チェックリストによる面接調査法を用いた。このチェックリストは、養育行動が把握出来るように考案されている87のしつけ項目から構成されている。これらの項目は、先に研究を行った養育態度に関する識者（心理学者・教育学者・小児科医・精神衛生医・幼稚園教師・評論家等）評定の意見項目を質問形式に直したものである。

(2) 親子関係中親の態度に関する調査には、既成の親子診断テスト（田研究

行)を用いた。

(3) 児童の基本的欲求調査には、既成の基本的欲求検査(東心発行)を用いた。

(4) 児童の社会適応性の調査には既成の絵画—欲求不満テスト (三京房発行)を用いた。

以上の調査中(1)は昭和36年5月より9月までの間に、(2)(3)(4)は昭和36年2月に調査を行った。

## 研 究 対 象

(1) 乳幼児の養育行動の調査の対象には西宮北口団地にあり、3才より5才までの子供のいる100世帯の母親を選定した。100世帯の両親の年令、教育程度、職業、各世帯の子供の人数、子供の年令別の人数は第1表より第5表までに示してある。この中で両親と子供以外の同居人の居る世帯は非常に少く5%程度である。室数は大部分二間に台所で、浴室はついているものといないものがある。

(2) 親子関係中親の態度調査の対象には西宮市H小学校第4学年に子供が在学する両親中、西宮北口団地に住む20組の両親を選定した。

(3) 児童の基本的欲求調査の対象には、西宮市H小学校第4学年に在学する生徒のうち西宮北口団地に住む16人の児童を選定した。

(4) 児童の社会適応性の調査の対象には、西宮市H小学校第4学年に在学する生徒のうち西宮北口団地に住む20人の児童を選定した。

第1表 年 令 構 成

年 令	父 N=100	母 N=100
	(%)	(%)
20~24	0 ( )	9 ( 9 )
25~29	5 ( 5 )	29 ( 29 )
30~34	37 ( 37 )	46 ( 46 )
35~39	46 ( 46 )	15 ( 15 )
40~44	12 ( 12 )	1 ( 1 )
計	100 ( 100 )	100 ( 100 )

第2表 教 育 程 度

学 歴	父 N=100	母 N=100
	(%)	(%)
小 学 校 卒	0 ( )	1 ( 1 )
新制中学卒	0	4 ( 4 )
旧制中学卒	17 ( 17 )	/
旧制高女卒	/	36 ( 36 )
新制高校卒	21 ( 21 )	38 ( 38 )
新制短大・旧制専門学校卒	11 ( 11 )	11 ( 11 )
新制大学・旧制大学卒	51 ( 51 )	10 ( 10 )
計	100 ( 100 )	100 ( 100 )

第3表 職業別

職 業	父 N=100	母 N=100
会 社 員	66 <sup>(%)</sup> (66)	1 <sup>(%)</sup> (1)
公 務 員	27 (27)	0
新聞記者	3 ( 3)	0
医 者	2 ( 2)	0
教 員	2 ( 2)	2 (2)
計	100 (100)	3 (3)

第4表 調査対象世帯の  
子供の人数

子供の人数	世帯 N=100
1 人	29 <sup>(%)</sup> (29)
2 人	67 (67)
3 人	4 ( 4)
4 人	0
計	100 (100)

第5表 調査対象世帯における3才  
～5才児の年齢別の人数

子供の年齢	男児 N=51	女児 N=61
3 才	17	20
4 才	21	26
5 才	13	15
計	51	61

## 研究結果及び考察

研究結果は、第6表より第10表まで及び第1図より第6図までに示してある。

第6表 面接調査による地域別実態と識者評定との関係

註(1) 基本的態度次元の符号

個人中心的 (現代的) I ←…………→ 家族中心的 (伝統的) F  
合 理 的 R ←…………→ 情 緒 的 E  
統 制 的 C ←…………→ 放 任 的 L

(2) C, C'表のA, N, D, ○はそれぞれ次の傾向を示す。

A……「望ましい」とする傾向

N……「どちらともきめられない」とする傾向

D……「望ましくない」とする傾向

○……その傾向の比較的明らかなもの、

A表 識者の80%以上が「望ましい」と判断したもの 数字は%  
( )は実数

態度次元	分類番号	意見項目	はい	いいえ	無関係
I.R.C.	1 健康の③	定期的に健康診断をうけさせる。	35 (35)	57 (57)	8 (8)
I.R.C.	1 健康の④	寒いときでも、なるべく、うすぎをさせる。	76 (76)	18 (18)	6 (6)
I.R.C.	2 睡眠の⑤	ひるねをさせる。	43 (43)	43 (43)	14 (14)
I.R.C.	3 食事の⑦	食事の前には手を洗わせる。	99 (99)	0 (0)	1 (1)
R.C.	5 排便の④	就寝前に用便させる。	81 (81)	18 (18)	1 (1)
I.R.C.	5 排便の⑤	定期的に排便させる。	25 (25)	74 (74)	1 (1)
I.R.C.	6 学習の②	子どもの質問には答えてやる。	97 (97)	0 (0)	3 (3)
I.R.C.	11 衣服の①	自分で着たり脱いだりさせる。	68 (68)	25 (25)	7 (7)
I.R.C.	14 レクリエーションの①	休日には家族一緒に出かける。	87 (87)	5 (5)	8 (8)
I.R.C.	18 親の学習の①	新聞の娯らんを読んで参考にする。	93 (93)	5 (5)	2 (2)

B表 識者の60%以上80%以内が「望ましい」と判断したもの

態度次元	分類番号	意見項目	はい	いいえ	無関係
I.R.C.	3 食事の④	食事を残さないようにさせる。	65 (65)	25 (25)	10 (10)
I.R.C.	4 おやつの③	たいていの場合、家庭で作って与える。	27 (27)	49 (49)	24 (24)
I.R.C.	4 おやつの⑦	きまった時間以外には与えない。	42 (42)	57 (57)	1 (1)
I.R.C.	5 排便の③	排便後には報告させる。 (便秘や下痢に注意するため)	71 (71)	20 (20)	9 (9)
I.R.C.	7 雑誌本の①	定期的に買ってやる。	54 (54)	45 (45)	1 (1)
I.R.C.	7 雑誌本の⑥	子どもの望む時に読んでやる。	99 (99)	0 (0)	1 (1)
F.C.	11 衣服の②	よそ行くとふだん着の区別をはっきりさせる。	83 (83)	14 (14)	3 (3)
I.R.C.	11 衣服の③	服をよごしても叱らない。	80 (80)	12 (12)	8 (8)
I.R.C.	17 娯担当の②	娯について祖父母にはまかせない。	80 (80)	0 (0)	20 (20)
I.R.C.	18 親の学習の②	心理学の本を読んで娯の勉強をする。	36 (36)	56 (56)	8 (8)

C表 識者の40%以上が「どちらともきめられない」と判断したもの

態度次元	分類番号	意見項目	はい	いいえ	無関係
F.E.L.	1 健康の②	N ビタミン剤、カルシウム剤など栄養剤は与えない。	30 (30)	65 (65)	5 (5)
I.R.C.	2 睡眠の①	A いつもベッドにねかせる。	6 (6)	89 (89)	5 (5)
I.R.C.	3 食事の⑪	A なるべく御飯よりパン食をさせる。	21 (21)	54 (54)	25 (25)
I.R.C.	4 おやつの②	A 既製のおやつを親が買って与える。	78 (78)	9 (9)	13 (13)
I.R.C.	5 排便の⑥	N 便通をよくするため、朝に水をのませる。	2 (2)	97 (97)	1 (1)
I.R.C.	5 排便の⑧	A 夜中に一度おこして排尿にゆかせる。	28 (28)	67 (67)	5 (5)
F.E.C.	7 雑誌本の③	D マンガは与えない。	76 (76)	14 (14)	10 (10)
I.R.C.	7 雑誌本の⑤	D 時間表にしたがって本を読んでやる。	1 (1)	95 (95)	4 (4)
I.R.C.	8 玩具の②	A ピストル、刀など買わない。	31 (31)	59 (59)	10 (10)
I.R.C.	9 テレビの③	D ダイヤルをまわすことを禁ずる。	27 (27)	64 (64)	9 (9)
I.R.C.	10 おけいこの①	N おけいこごととはさせない。	66 (66)	26 (26)	8 (8)
I.R.C.	10 おけいこの②	N 一日のうち一定時間、おけいこごと(ピアノ・おどりその他)をさせる。	15 (15)	70 (70)	15 (15)
I.R.C.	14 レクリエーションの②	N 映画は子どもには見せない。	68 (68)	17 (17)	15 (15)
I.R.C.	14 レクリエーションの③	D 夫婦の外出には子どもをつれて行かない。	76 (76)	20 (20)	4 (4)
I.R.C.	15 行事の①	D おまつりなどの行事に参加させない。	72 (72)	20 (20)	8 (8)
F.E.C.	15 行事の②	A 七五三など、子どもの行事には参加させる。	51 (51)	43 (43)	6 (6)
I.R.L.	16 宗教の②	D 宗教に関しては別に何もしない。	70 (70)	26 (26)	4 (4)
I.R.C.	16 宗教の③	D 日曜学校(キリスト教・仏教など)に通わせる。	40 (40)	53 (53)	7 (7)

C'表 識者のいずれの評定分類基準にも属さないもの

態度次元	分類番号	意見項目	はい	いいえ	無関係
F.E.L.	1 健康の①	D 歯をみがくことについては、やかましくいわない。	29 (29)	61 (61)	10 (10)
I.R.C.	1 健康の⑤	N 生水(水道)のはませない。	55 (55)	38 (38)	7 (7)
I.R.C.	2 睡眠の②	A 独立した部屋で一人だけでねかせる。	8 (8)	88 (88)	4 (4)
I.E.L.	2 睡眠の⑨	D 人形かそれに代るものをもってねかせる。	9 (9)	84 (84)	7 (7)
I.R.L.	3 食事の①	A あまりいやがるものは無理して食べさせない。	70 (70)	18 (18)	12 (12)
F.E.C.	3 食事の⑤	D 食事中おしゃべりをさせぬようにする。	19 (19)	76 (76)	5 (5)
I.R.C.	3 食事の⑧	D 食事時間を約30分と決め、それ以後は食べさせない。	55 (55)	40 (40)	5 (5)
I.R.C.	3 食事の⑨	D たいていの場合、子どもの注文によって献立する。	29 (29)	69 (69)	2 (2)
I.R.C.	4 おやつの⑤	A 駄菓子類は与えない。	63 (63)	36 (36)	1 (1)
I.R.C.	4 おやつの⑥	D 甘いものは与えない。	13 (13)	81 (81)	6 (6)
I.R.C.	4 おやつの⑧	A きょうだいの年齢に応じ、おやつの分量をかえて与える。	33 (33)	54 (54)	13 (13)
I.R.C.	5 排便の①	A 幼児便器を使用させる。	5 (5)	92 (92)	3 (3)
E.C.	5 排便の②	D 大小便は親がついてさせる。	29 (29)	68 (68)	3 (3)
I.R.C.	6 学習の①	D 文字や数字を一通りおぼえさせる。	23 (23)	62 (62)	15 (15)
I.R.C.	7 雑誌本の②	D できるだけたくさん買って与える。	14 (14)	76 (76)	10 (10)
I.R.C.	9 テレビの⑤	A テレビを子どもひとりだけでは見させない。	21 (21)	75 (75)	4 (4)
I.R.L.	12 礼儀の①	N 日常の礼儀作法はやかましくいわない。	59 (59)	32 (32)	9 (9)
F.E.C.	12 礼儀の③	A お客さまには礼儀正しくさせるようにする。	55 (55)	32 (32)	13 (13)
F.E.C.	13 友人関係の①	D 親が子どもの友人を選んで遊ばせる。	7 (7)	87 (87)	6 (6)
I. L.	13 友人関係の③	D 遠くの友だちのところへも自由に遊びにゆかせる。	10 (10)	87 (87)	3 (3)
F.E.C.	16 宗教の①	D 神仏を毎日おがませる。	8 (8)	88 (88)	4 (4)

D表 識者の60%以上80%以内が「望ましくない」と判断したもの

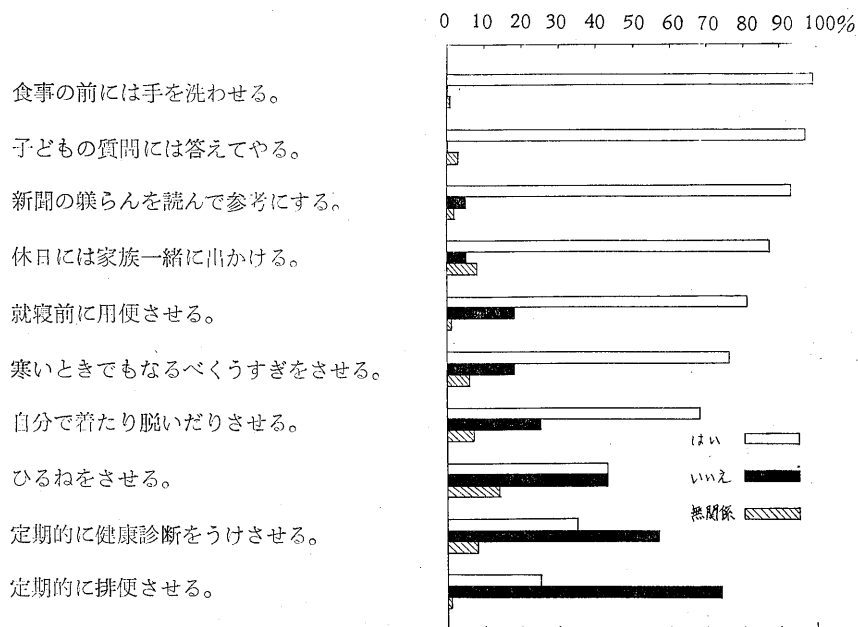
態度次元	分類番号	意見項目	はい	いいえ	無関係
F.E.L.	2 睡眠の⑥	別に時間をきめないで、子どもの好きなときに就寝させる。	39 (39)	54 (54)	7 (7)
I.E.L.	3 食事の⑥	食事作法(茶わんや箸のもち方、食べ方、姿勢など)を特に教えない。	45 (45)	47 (47)	8 (8)
F.E.C.	3 食事の⑩	子どもと大人の食事時間を別にする。	10 (10)	79 (79)	11 (11)
F.E.C.	5 排便の⑦	夜尿をすると叱る。	14 (14)	49 (49)	37 (37)
I.E.L.	8 玩具の①	子どものほしがるものは自由に買ってやる。	21 (21)	72 (72)	7 (7)
I. C.	8 玩具の③	既製のおもちゃは与えない。	5 (5)	88 (88)	7 (7)
I. C.	9 テレビの⑥	テレビは子どもに悪いから買わない。	0 (0)	84 (84)	16 (16)
E.C.	13 友人関係の④	できるだけ年上の子どもと遊ばせる。	11 (11)	81 (81)	8 (8)
E.C.	13 友人関係の⑥	ひとりでは遊びに外へ出さない。	18 (18)	77 (77)	5 (5)
I.E.L.	14 レクリエーションの④	子どもの行きたがる場所へは、どこへでもつれて行く。	29 (29)	57 (57)	14 (14)
F.E.L.	15 行事の③	家庭的行事は別に行わない。	11 (11)	85 (85)	4 (4)
F.E.L.	18 親の学習の③	別に読書の勉強はしない。(自分たちの考え通り育てる。)	50 (50)	33 (33)	17 (17)

E表 識者の80%以上が「望ましくない」と判断したもの

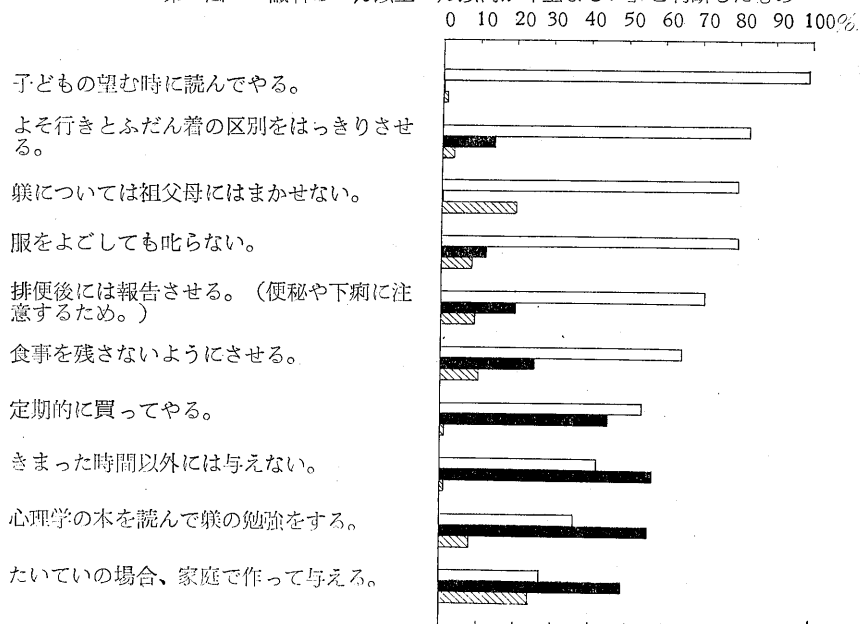
態度次元	分類番号	意見項目	はい	いいえ	無関係
F.E.L.	2 睡眠の③	きょうだいと同じふとんにねかせ る。	3 (3)	92 (92)	5 (5)
F.E.L.	2 睡眠の④	両親と同じふとんにねかせる。	12 (12)	86 (86)	2 (2)
F.E.L.	2 睡眠の⑦	下着のままでねかせる。	5 (5)	93 (93)	2 (2)
F.E.L.	2 睡眠の⑧	電灯をつけたままねかせる。	28 (28)	69 (69)	3 (3)
F.E.L.	3 食事の②	食べたがるときは一日何回でも食 べさせる。	18 (18)	81 (81)	1 (1)
F.E.L.	3 食事の③	食べものの栄養価などは別に気に しない。	1 (1)	96 (96)	3 (3)
F.E.L.	3 食事の⑩	偏食は別に気にとめない。	2 (2)	95 (95)	3 (3)
F.E.L.	4 おやつ①	お金をやって子どもに適当に買わ せる。	1 (1)	98 (98)	1 (1)
F.E.L.	4 おやつ④	おやつを勝手にとり出して食べる ことを許す。	16 (16)	81 (81)	3 (3)
F.E.L.	7 雑誌絵本の④	雑誌や絵本はほとんど買わない。	26 (26)	59 (59)	15 (15)
F.E.L.	9 テレビの①	時間をとわず、好きなものを自由 に見させる。	46 (46)	43 (43)	11 (11)
F.E.L.	9 テレビの②	食事をしながら見させる。	49 (49)	43 (43)	8 (8)
F.E.C.	9 テレビの④	テレビは見させない。	21 (21)	75 (75)	4 (4)
F.E.C.	13 友人関係の③	自分の家の中以外では遊ばせない。	3 (3)	95 (95)	2 (2)
F.E.C.	13 友人関係の⑤	異性の子どもとは遊ばせない。	6 (6)	90 (90)	4 (4)
F.E.C.	17 躰担当の①	母親だけが躰にあたり、叱るとき は父親がする。	36 (36)	52 (52)	12 (12)



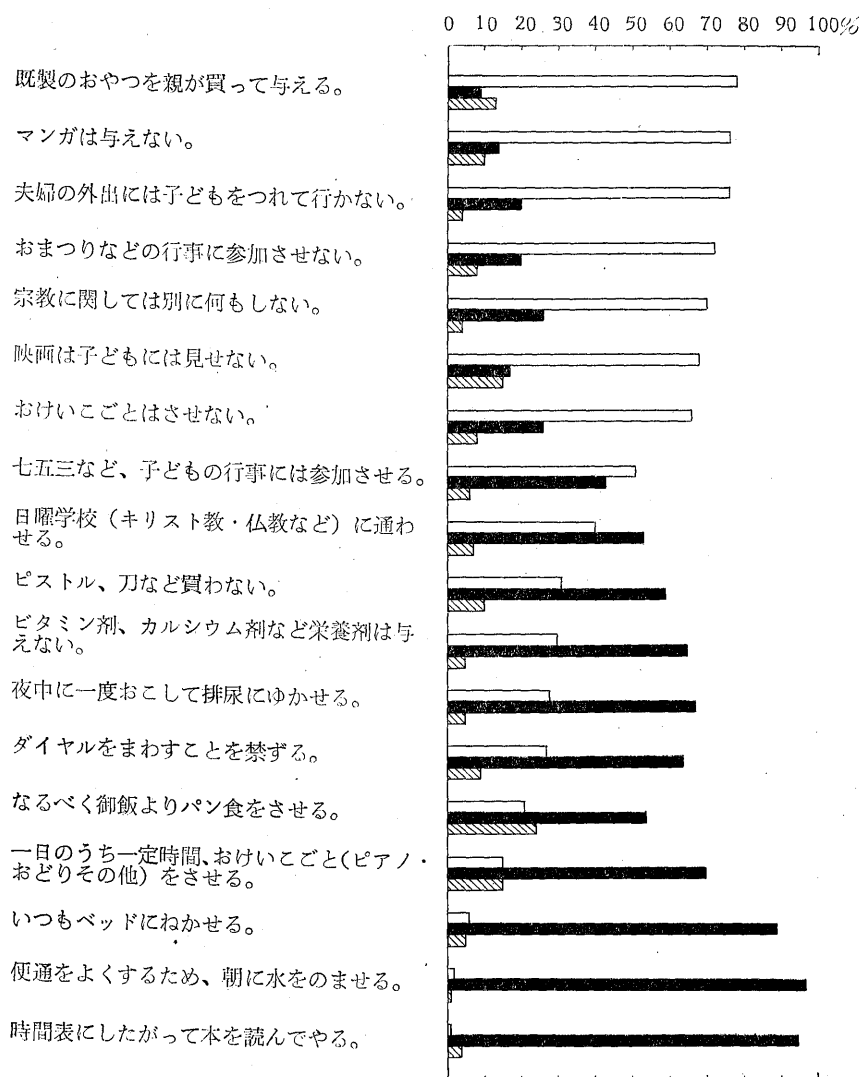
第1図 識者の80以上が「望ましい」と判断したもの



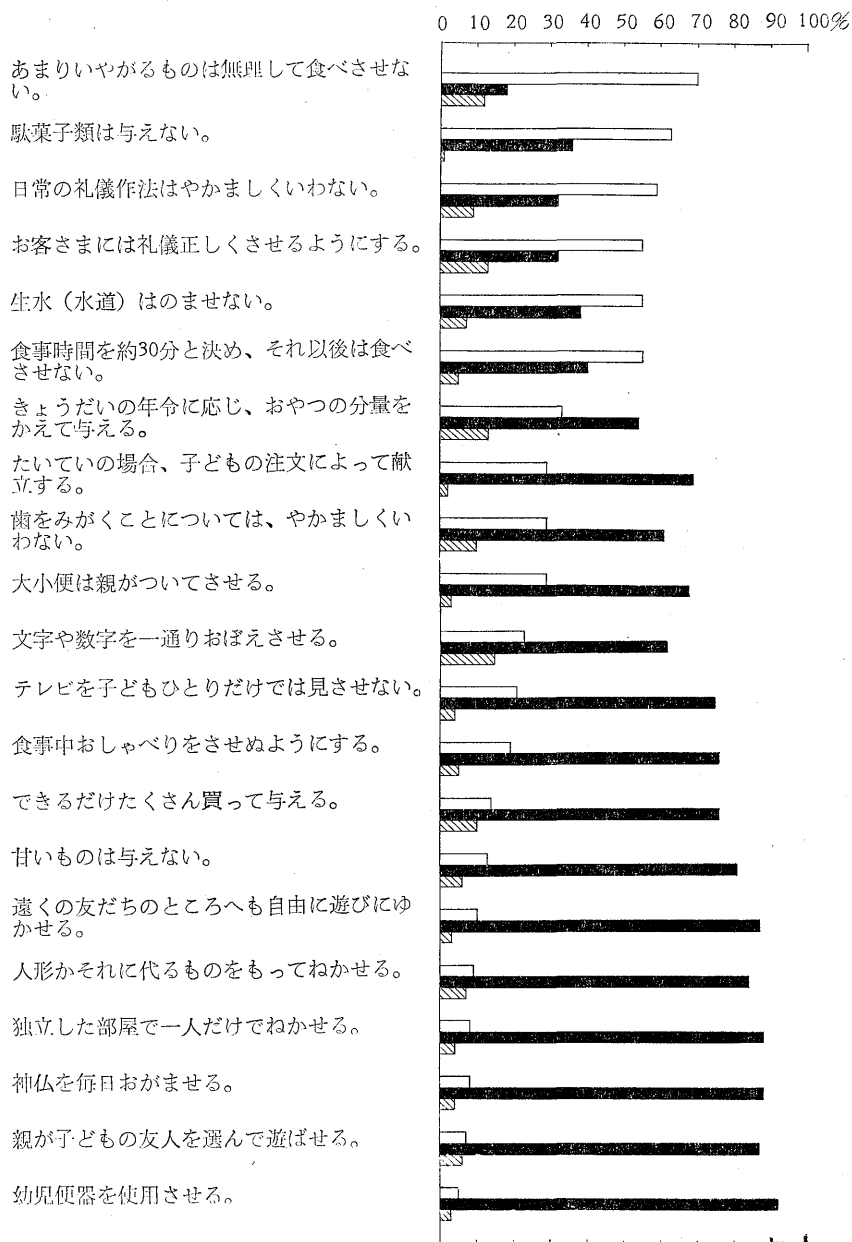
第2図 識者の60%以上80%以内が「望ましい」と判断したもの



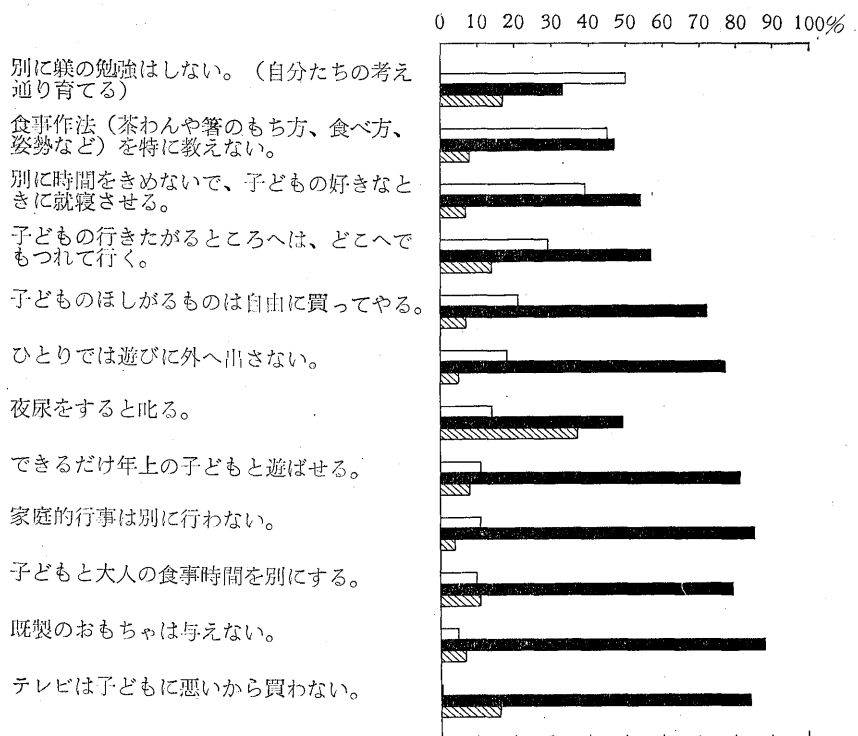
第3図 識者の40%以上が「どちらともきめられない」と判断したもの



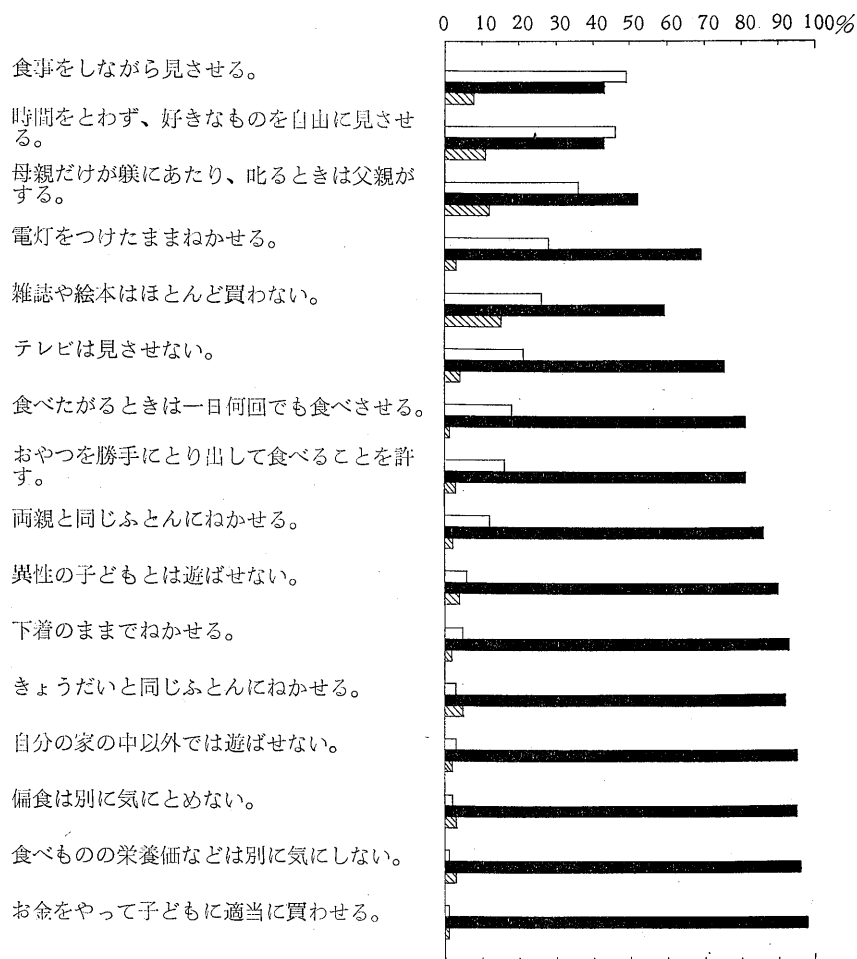
第4図 識者のいずれの評価分類基準にも属さないもの



第5図 識者の60%以上80%以内が「望ましくない」と判断したもの



第6図 識者の80%以上が「望ましくない」と判断したもの



第7表 親子関係診断テストの  
平均パーセンタイル

態度	型	パーセン タイル
拒否	1. 消極的 拒否型	父 46.2
		母 42.4
	2. 積極的 拒否型	父 55.2
		母 41.8
支配	3. 厳格型	父 53.0
		母 44.2
	4. 期待型	父 52.3
		母 42.7
保護	5. 干渉型	父 65.4
		母 36.0
	6. 不安型	父 45.5
		母 29.5
服従	7. 溺愛型	父 54.1
		母 54.2
	8. 盲従型	父 58.7
		母 65.2
不一致	9. 矛盾型	父 44.3
		母 45.6
	10. 不一致型	父 41.0
		母 42.5

第8表 親子関係診断テストの結果、20パー  
センタイル以下と80パーセンタイル  
以上に含まれる戸数の実態 (%)

態度	型		戸 数	
			0-20%	80-100%
拒否	1. 消極的 拒否	父	5 (1)	20 (4)
		母	20 (4)	20 (4)
	2. 積極的 拒否	父	30 (6)	30 (6)
		母	45 (9)	15 (3)
支配	3. 厳格	父	5 (1)	15 (3)
		母	20 (4)	15 (3)
	4. 期待	父	5 (1)	30 (6)
		母	35 (7)	25 (5)
保護	5. 干渉	父	5 (1)	30 (6)
		母	30 (6)	10 (2)
	6. 不安	父	35 (7)	20 (4)
		母	50 (10)	5 (1)
服従	7. 溺愛	父	25 (5)	25 (5)
		母	13 (3)	25 (5)
	8. 盲従	父	10 (2)	30 (6)
		母	5 (1)	30 (6)
不一致	9. 矛盾	父	15 (3)	10 (2)
		母	15 (3)	10 (2)
	10. 不一致	父	35 (7)	10 (2)
		母	25 (5)	5 (1)

第9表 基本的欲求テスト結果の  
評定分類

欲	求	
L (愛 情)	+	37.5% (6)
	0	12.5 (2)
	-	50.0 (8)
A (成 就)	+	37.5 (6)
	0	18.8 (3)
	-	43.7 (7)
B (所 属)	+	12.5 (2)
	0	12.5 (2)
	-	75.0(12)
I (独 立)	+	87.5(14)
	0	0 (0)
	-	12.5 (2)
E (経 済 安 定)	+	6.3 (1)
	0	37.5 (6)
	-	56.2 (9)
S (承 認)	+	43.8 (7)
	0	0 (0)
	-	56.2 (9)
F (恐 怖)	+	18.8 (3)
	0	37.5 (6)
	-	43.7 (7)
G ( 罰 )	+	18.8 (3)
	0	37.5 (6)
	-	43.7 (7)
W (見 解)	+	12.5 (2)
	0	37.5 (6)
	-	50.0 (8)

註; 数値は%, ( ) 内は実数  
 +……強い 0……普通  
 -……弱い

第10表 P.F.スタディー結果の  
平均 ( % )

方 向 (罰)	E	39 %
	I	32
	M	29
型	O - D	16
	E - D	55
	N - P	29
超 自 我 因 子	<u>E</u>	6
	<u>I</u>	9
	<u>E + I</u>	15
	<u>E - E</u>	16
	<u>I - I</u>	10
	<u>M + I</u>	38
社適 応 会 度	G C R	64

(1) 乳幼児の養育行動に関する調査結果（第6表A表より第6表E表まで及び第1図より第6図まで参照）

識者の80%以上が「望ましい」と判断した10項目の中で、80%以上の母親が行っているものが5項目、60%以上の母親が行っているものが2項目である。識者の60%以上が「望ましい」と判断した10項目の中で80%以上の母親が行っているのが4項目、60%以上の母親が行っているのが2項目である。

次に識者の40%以上が「どちらともきめられない」と判断した18項目の中で、80%以上の母親が行っている項目は0で、60%以上の母親が行っているのが7項目ある。また識者が「いずれの評定分類基準にも属さない」とした21項目の中で、80%以上の母親が行っている項目は0で、60%以上の母親が行っているのは2項目である。

更に識者の80%以上が「望ましくない」と判断したものについてみると16項目中で、80%以上の母親が行っていないのが10項目で、60%以上の母親が行っていないのが2項目である。

以上の結果よりみて、団地においては、識者の「望ましい」とするようなしつけ行動が行われており、識者の「望ましくない」または「どちらともきめられない」とするようなしつけ行動は行われていないことがわかる。大体において、望ましいしつけ行動が行われているといえる。

(2) 親子関係中親の態度に関する調査結果（第7表及び第8表参照）

母親は干渉型が平均36パーセント、不安型が平均29.5パーセントで準危険地帯にあり、過保護のよくない傾向にあることが目立っている。特に、不安型では20パーセント以下の危険地帯に、50%もの母親が見い出される。父親では平均20パーセント以下の危険地帯及び40パーセント以下の準危険地帯にある項目は一つも見い出されない。特に干渉型では平均65パーセントもの高さを示している。大体において父親は母親に比して望ましい傾向を示している。

(3) 児童の基本的欲求に関する調査結果（第9表参照）

独立の欲求が著しく強く87.5%もの児童がこれを求めている。これは第2の



調査結果に示されている母親の過保護的な態度と照しあわせて母親の考えてみなければならない一つの点であるといえる。

また所属の欲求は75%もの児童が、愛情は50%の児童が弱い欲求をもっている。これも狭い家の中で、子どもたちが、比較的余暇のある母親たちに常にみつめられて生活しているであろうことを考えあわせて、母親の考えてみなければならない今一つの点であると思われる。

更に経済的安定の欲求において、56.2%の児童が弱い欲求を、わずか6.3%が強い欲求をもっていることも、一つの目立っている点である。

#### (4) 児童の社会適応性の調査結果 (第10表参照)

方向としては E%が-9.7%、I%が+8.7%、M%が+2.9%で、外罰的というよりは内罰的でやや無罰的である。型としては著しい傾向はみられない。超自我因子としては、M+I%が+4.8%でやや高く、自他弁護の傾向を示している。GCR%すなわち社会適応度は、+5.7%で高く望ましい状態である。

## 総 括 及 び 結 論

団地における養育行動と児童のパーソナリティーの関係を研究するため次の四つの調査を行った。

#### (1) 乳幼児の養育行動に関する調査

西宮市北口団地で、3才より5才までの幼児のいる100世帯の母親を対象としてチェックリストによる面接調査を、87のしつけ項目について行った。その結果大部分の母親は識者達が「望ましい」とするようなしつけ行動を行っており、大部分が、識者達の「望ましくない」とするようなしつけ行動や、識者達が「どちらもきめられない」とするようなしつけ行動はほとんど行っていない事がわかった。

#### (2) 親子関係中親の態度に関する調査

西宮市H小学校第4学年に子供が在学する両親中、西宮北口団地に住む20組の両親を対象として、親子診断テストを行ったが、母親の子供に対する態度が

過保護的であるのが目立っている。すなわち多くの母親は子供の事について非常に強い不安を持っており、また干渉的である。父親の子供に対する態度は母親に比して望ましいものであることがみとめられた。

### (3) 児童の基本的欲求に関する調査

西宮市H小学校第4学年の生徒のうち西宮市北口団地に住む16人の児童を対象として基本的欲求検査を行ったが、独立の強い欲求をもつものが非常に多く、また所属、愛情、経済的安定に関しては弱い欲求をもつものが多いことがわかった。

### (4) 児童の社会適応性に関する調査

西宮市H小学校第4学年の生徒のうち西宮北口団地に住む20人の児童を対象にP. F. スタデーを行った。その結果児童は内罰的、また無罰的で、GCR %すなわち社会的適応度は高いことが明らかとなった。

以上の結果よりみて、団地においては、母親は子供に対し過保護で、子供は独立を強く望んでいるが、大体において親の養育態度も子どものパーソナリティーとともに望ましい傾向にあることが明らかとなった。

(本研究は文部省総合科学研究「乳幼児の行動と養育態度の心理学的研究」の一部として次の諸氏との協同研究によるものである。

古賀行義、大西佐一、山本真市、田中国夫、松山安雄)

- (1) Baldwin, A. L., et al., Patterns of Parent Behavior Psychol., Monog., 1945, Vol. 58, 3
- (2) Eric, M. C., Social Status and Child-rearing Practices, Reading in Social Psychol., 1947
- (3) Sears, R. R., et al., Patterns of Child-Rearing, (ed) Row, Peterson, 1957
- (4) Glidewell, J. C., et al., Parental Attitudes and Child Behavior, (ed) Thomas, C. C., 1960
- (5) Rae, A., et al., A Parent-Child Relations Questionnaire, Child Developm., 1963, 34, No. 2
- (6) 小川太郎 近代社会における親子関係と教育 児童心理・七巻九号

# **A Study on Parental Attitudes and Child Personality In the Case of *Danchi* (A Large Housing Center)**

## **Résumé**

Yamakawa, Noriko

In order to study parental attitudes and child personality found in *Danchi*, the following four investigations were administered as samples of two groups of parents and two groups of children who live in Nishinomiya, Kitaguchi Danchi.

(1) Each of a hundred mothers who had children of two to five years of age was asked 87 questions in the course of a home interview. The questionnaire had been designed by the investigator and her co-workers to elicit maternal attitudes toward child-rearing. Those maternal attitudes, in turn, were rated by specialists (psychologists, pedagogists, pediatricists, mental hygienists, kindergarteners and critics) as follows: "Desirable," "Undesirable," "Neither Desirable nor Undesirable."

The finding is that most of the mothers carry out the disciplinary items toward their children which the specialists designated as "Desirable" and do not carry out the disciplinary items which are designated as "Undesirable" or "Neither Desirable nor Undesirable."

(2) A test of parental attitudes toward parent-child relationships (published by Taken) was administered to 20 fathers and 20 mothers whose children were studying in the fourth grade of H. Elementary School in Nishinomiya City. It was revealed that most of the mothers are too protective, that is, they worry excessively about their children and interfere with them. Also it was found that most of the fathers' attitudes toward their children were much better than the mothers'.

(3) A test of basic needs of children (published by Toshin) was administered to 16 pupils of the fourth grade in H. Elementary School. It was revealed that most of the children have a very strong desire of "Independence" and a weak desire of "Belonging," "Love for Affections" and "Economic Security."

(4) To investigate the children's adjustment, A Picture Frustration Study (published by Sankyobo) was administered to 20 pupils of the fourth grade in H. Elementary School. The result shows that they are more intropunitive than a little impunitive or extropunitive and their Group Conformity Rating is high.

As a whole, parental attitudes and child personality found in *Danchi* are very desirable, though mothers are overprotective and children have a strong desire of "Independence."